

## 12月17日から出荷開始

# 太陽ホールディングスが食糧事業として高品質イチゴの生産を開始

## ～ITを活用したスマート農業により1粒1000円のブランドイチゴを栽培～

太陽ホールディングス株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 英志、証券コード：4626)の子会社で食糧事業等を行う太陽グリーンエナジー株式会社(本社：埼玉県比企郡嵐山町、代表取締役社長：荒神 文彦)は、近隣の農地を活用し高付加価値な農作物の生産を目的に、今年9月からITを用いたイチゴのハウス栽培を始め、12月17日より出荷を開始しました。初年度は約12トンの収穫を見込んでおり、基準を満たした高品質なイチゴは、農業生産法人株式会社GRAが手掛ける「ミガキイチゴ」として首都圏を中心とした小売店で販売されます。

今後、国内で生産規模を拡大するとともに、既存事業で培ったグローバル展開のノウハウを生かし、輸出及び海外生産を目指します。



収穫前の様子



冬季は専用ライトにより昼夜時間を調整

### 高品質イチゴ生産の背景

- (1) 太陽ホールディングスは、これまで培った化学の知見を生かし、世界的な課題解決に繋がる新しい事業として、「エネルギー」「食糧」分野での取り組みを始めています。太陽グリーンエナジーでは、2015年11月より植物工場ではべーリーフを生産・出荷するなど、農業分野での研究・取り組みを進めています。
- (2) イチゴのハウス栽培開始にあたり、ITで最適化された栽培方法を確立し、ブランドイチゴ「ミガキイチゴ」を生産・販売する株式会社GRAで新規就農支援制度を利用し、担当社員が約一年間の研修を受けました。ミガキイチゴは「食べる宝石」をコンセプトとし、大粒で完熟した糖度の高さを特徴としており、最高級品は1粒1,000円で百貨店を中心に販売されています。
- (3) ハウス内は温度、湿度、二酸化炭素濃度等を全てセンサーで感知し、環境を自動制御することで、計画的な生産・収穫を可能としています。

### 生産の概要

- 【事業用地】 埼玉県比企郡嵐山町（ひきぐんらんざんまち）
- 【用地面積】 約4,000㎡
- 【作付面積】 約3,000㎡
- 【想定収穫量】 12～15 t /年
- 【初期投資額】 約1.4億円
- 【事業者】 太陽グリーンエナジー株式会社



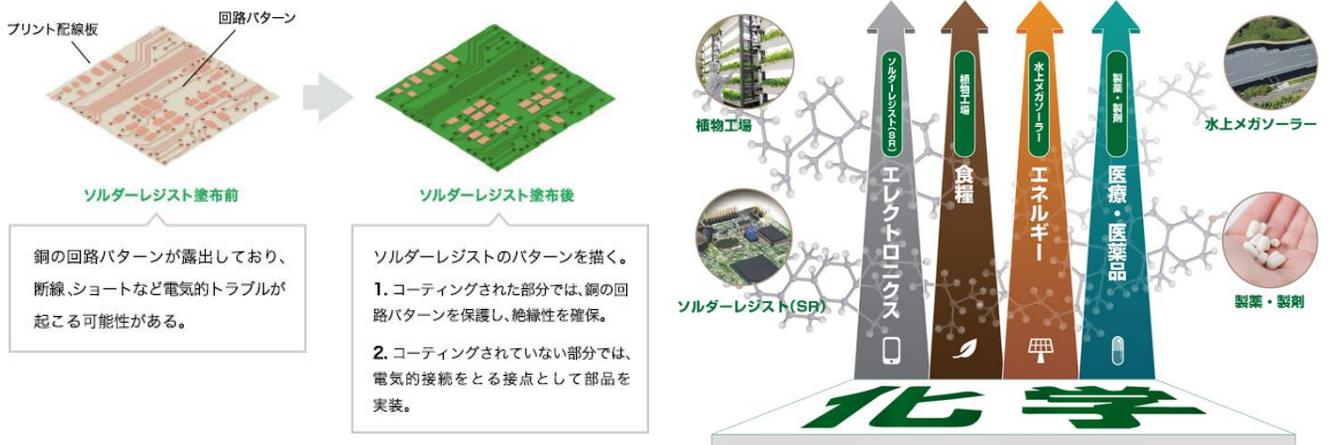
## 太陽グリーンエナジー 会社概要

- 【本社】 〒355-0222 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
- 【代表】 荒神 文彦
- 【創業】 2014年12月1日
- 【事業内容】 自然エネルギー等による発電事業及び電気の供給、販売、植物工場の運営等



## 太陽ホールディングス 事業紹介

太陽ホールディングスは、「ソルダーレジスト」の世界シェアナンバー1メーカーです。スマートフォンやパソコンなどのIT機器やデジタル家電、車載用電子機器などあらゆるエレクトロニクス製品に利用されるプリント配線板(電子回路)に使用される緑色のインキ(絶縁材)がソルダーレジストです。ソルダーレジスト事業にとどまらずグローバル総合化学企業になることを目指し、化学を基盤とする新分野へ踏み出します。従来のエレクトロニクス事業に加え、食糧、エネルギー※1、医療・医薬品※2の分野に進出しています。



※1「太陽グリーンエナジー株式会社」太陽光発電事業会社として、2014年12月に設立。現在は植物工場の運営も行う。

※2「太陽ファルマ株式会社」医薬品事業会社として、2017年8月に設立。

## 太陽ホールディングス 会社概要

太陽ホールディングスは、ソルダーレジスト(基板などに使用される緑色の絶縁材)の世界シェアトップクラスを誇るリーディングカンパニーです。ソルダーレジストをはじめとするエレクトロニクス事業、植物工場を稼働させる食糧事業、日本で8番目の水上太陽光発電所を開発をするなどエネルギー事業、医療・医薬品事業の4本柱で、グローバル総合化学企業を目指します。

- 【本社】 〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル16階
- 【本店所在地】 〒355-0222 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
- 【代表】 佐藤 英志
- 【創業】 1953年(昭和28年)9月29日
- 【資本金】 93億3,191万円
- 【従業員数】 連結 1,268名/単体 81名 (2018年3月時点)